

QUICLEAN® 複合無機系凝集剤

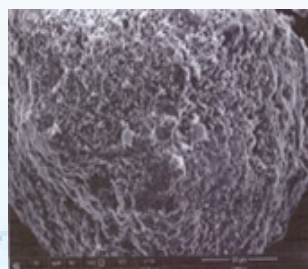
QCL-FSI 010

(1) 商品紹介

- ①本製品はアニオンイオン強度を若干強めに配合しているため、無機SS成分の凝集処理に高い効果を発揮します。
- ②天然粘性鉱物(ゼオライト態様)の配合比率も高いので、重金属イオン処理にも適しています。
- ③当社のQCL製品シリーズに共通する特長として、幅広いpHや水温、塩分濃度に対応するように設計していますので、凝集反応設備の簡素化を実現いたします。

(2) スペック(仕様)

| | |
|-----|-----------------------|
| 外観 | 灰色粉末状 |
| 密度 | 1.82g/cm ³ |
| 含有量 | 99%以上 |



電子顕微鏡拡大写真(5000倍)

(3) 適用廃污水(各種工業廃水の凝集処理に適用します)

自動車部品工場、機械加工工場、表面処理工場、金属メッキ工場、PCB処理工場など。

参考/QCL-FSI 011: 製紙工場、染色工場、インキペイント工場、土壌汚染廃水など。

QCL-FSI 012: 食品加工工場、塗装工場、厨房雑排水など。

(4) コスト低減

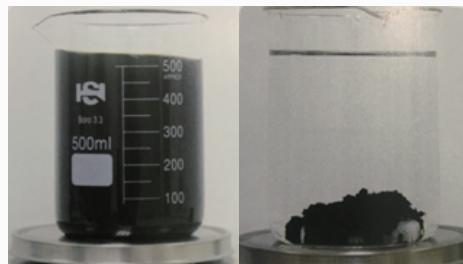
- ①凝集処理工程の簡素化と凝集剤の添加量を削減します。
 - ②凝集フロックが非常に大きく、凝集汚泥の脱水効率が格段に向上します。
 - ③凝集した重金属は再溶出がありません(二次汚染が発生しません)。
- 以上により、トータル処理コストの低減を実現します。

(5) 使用方法

① ジャーテスト実施手順

排水処理対象となる汚水について、適正な凝集剤の添加量を決めるためにジャーテストを行ってください。テスト方法は次の通りです。

- 1) 汚水サンプルをビーカーに200mL入れます。
- 2) QCL-FSI 010凝集剤の添加量を少しずつ増やしながら、凝集効果を観察します。
添加量例) 100ppm → 200ppm → 300ppm
- 3) QCL-FSI 010凝集剤添加後、速やかに高速攪拌を2分程度行いながら凝集効果の発現を観察します。
凝集効果が表れてきた時点で攪拌速度を緩め、凝集フロックを成長させます。



- 4) そのまま、3分程度緩速攪拌を行ったのち攪拌機を停止すると、凝集フロックがビーカー底部に沈殿します。この時に、沈殿速度についても是非ご確認ください。
- 5) ビーカー上部の上澄み水の水質検査を行います。

②実際の処理設備でのテスト実施手順

前記のジャーテストの結果確認を終えたら、現地の排污水処理設備での使用実験を実施します。

- 1) QCL-FSI 010凝集剤は粉末です。そのまま投薬しますので投薬器をご用意願います。
- 2) QCL-FSI 010凝集剤投薬量は、ジャーテスト結果に従って、必要量を投薬してください。
実際設備での投薬量はジャーテストに比べ、若干少なくなる傾向です。
- 3) 当社QCL製品シリーズ凝集剤共通の特徴として、処理対象排污水のpHに影響されません。
しかし、処理後の排水のpHは基準値に応じて調整してから排水する必要があります。
- 4) 実際の処理設備の状況によっては、別に高速攪拌機と緩速攪拌機を用意する必要があります。

(6)製品保管場所及び方法

- ① QCL製品シリーズは、全て粉体で「20kg」袋詰となっています。
- ② 包装は万全ですが、屋内保管を前提に、高温多湿で雨や水にふれない場所に保管願います。
- ③ 保管方法が適正な場合、概ね6ヶ月は保管による製品劣化は発生いたしません。

発売元: 株式会社クイックリン
東京都台東区台東3-41-8-301
TEL : 03 - 3834 - 8600
e-mail: info@quicleanep.com
http://www.quicleanep.co.jp
製造元: TAITENG EP MATERIAL TECH Co.,Ltd.

お問合せ先:

QUICLEAN®は、株式会社クイックリンの登録商標です。

QUICLEAN® 複合無機系凝集剤

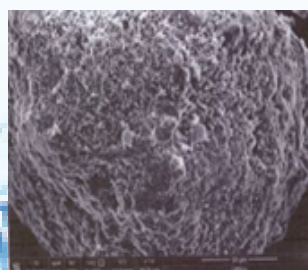
QCL-FSI 011

(1) 商品紹介

- ①本製品はアニオン、カチオン、ノニオンの各イオン強度をバランス良く配合することで、広範なSS成分の凝集処理に高い効果を発揮します。
- ②天然粘性鉱物(ゼオライト態様)の配合比率が高いため、重金属イオン処理にも適しています。
- ③当社のQCL製品シリーズに共通する特長として、幅広いpHや水温、塩分濃度に対応するように設計していますので、凝集反応設備の簡素化を実現します。

(2) スペック(仕様)

| | |
|-----|-----------------------|
| 外観 | 白色粉末状 |
| 密度 | 1.23g/cm ³ |
| 含有量 | 99%以上 |



電子顕微鏡拡大写真(5000倍)

(3) 適用排水(各種工業廃水の凝集処理に適用します)

製紙工場、染色工場、インキペイント工場、土壌汚染廃水など。

参考/QCL-FSI 010:自動車部品工場、機械加工工場、表面処理工場、金属メッキ工場、PCB処理工場など。

QCL-FSI 012:食品加工工場、塗装工場、厨房雑排水など。

(4) コスト削減

- ①凝集処理工程の簡素化と凝集剤の添加量を削減します。
 - ②凝集フロックが非常に大きく、凝集汚泥の脱水効率が格段に向上します。
 - ③凝集した重金属は再溶出がありません(二次汚染が発生しません)。
- 以上により、トータル処理コストの低減を実現します。

(5) 使用方法

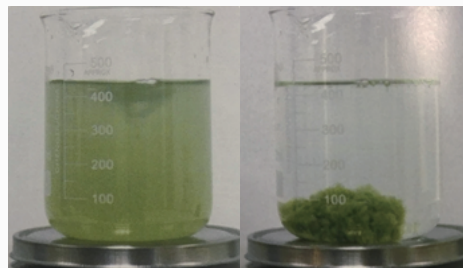
① ジャーテスト実施手順

排水処理対象となる汚水について、適正な凝集剤の添加量を決めるためにジャーテストを行ってください。テスト方法は次の通りです。

- 1) 汚水サンプルをビーカーに200mL入れます。
- 2) QCL-FSI 011凝集剤の添加量を少しずつ増やしなが
ら、凝集効果を観察します。

添加量例) 100ppm → 200ppm → 300ppm

- 3) QCL-FSI 011凝集剤添加後、速やかに高速攪拌を2
分程度行いながら凝集効果の発現を観察します。
凝集効果が表れてきた時点で攪拌速度を緩め、凝集
フロックを成長させます。



- 4) そのまま、3分程度緩速攪拌を行ったのち攪拌機を停止すると、凝集フロックがビーカー底
部に沈殿します。この時に、沈殿速度についても是非ご確認ください。
- 5) ビーカー上部の上澄み水の水質検査を行います。

②実際の処理設備でのテスト実施手順

前記のジャーテストの結果確認を終えたら、現地の排污水処理設備での使用実験を
実施します。

- 1) QCL-FSI 011凝集剤は粉末です。そのまま投薬しますので投薬器をご用意願います。
- 2) QCL-FSI 011凝集剤投薬量は、ジャーテスト結果に従って、必要量を投薬してください。
実際設備での投薬量はジャーテストに比べ、若干少なくなる傾向です。
- 3) 当社QCL製品シリーズ凝集剤共通の特徴として、処理対象排污水のpHに影響されません。
しかし、処理後の排水のpHは基準値に応じて調整してから排水する必要があります。
- 4) 実際の処理設備の状況によっては、別に高速攪拌機と緩速攪拌機を用意する必要があります。

(6)製品保管場所及び方法

- ① QCL製品シリーズは、全て粉体で「20kg」袋詰となっています。
- ② 包装は万全ですが、屋内保管を前提に、高温多湿で雨や水にふれない場所に保管願
います。
- ③ 保管方法が適正な場合、概ね6ヶ月は保管による製品劣化は発生いたしません。

発売元: 株式会社クイックリン
東京都台東区台東3-41-8-301
TEL : 03 - 3834 - 8600
e-mail: info@quicleanep.com
http://www.quicleanep.co.jp
製造元: TAITENG EP MATERIAL TECH Co.,Ltd.

お問合先:

QUICLEAN®は、株式会社クイックリンの登録商標です。

QUICLEAN® 複合無機系凝集剤

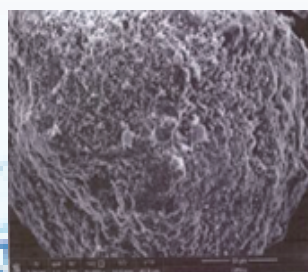
QCL-FSI 012

(1) 商品紹介

- ①本製品はアニオン、カチオン、ノニオンの各イオン強度をバランス良く配合することで、広範なSS成分の凝集処理に高い効果を発揮します。
- ②当社のQCL製品シリーズに共通する特長として、幅広いpHや水温、塩分濃度に対応するように設計していますので、凝集反応設備の簡素化を実現します。

(2) スペック(仕様)

| | |
|-----|-----------------------|
| 外観 | 白色粉末状 |
| 密度 | 1.19g/cm ³ |
| 含有量 | 99%以上 |



電子顕微鏡拡大写真(5000倍)

(3) 適用排水(各種工業廃水や生活下水処理に適用します)

食品加工工場や、塗装工場、厨房雑排水など。

参考/QCL-FSI 010:自動車部品工場、機械加工工場、表面処理工場、金属メッキ工場、PCB処理工場など。

QCL-FSI 011:製紙工場、染色工場、インキペイント工場、土壌汚染廃水など。

(4) コスト削減

- ①凝集処理工程の簡素化と凝集剤の添加量を削減します。
 - ②凝集フロックが非常に大きく、凝集汚泥の脱水効率が格段に向上します。
 - ③凝集した重金属は再溶出がありません(二次汚染が発生しません)。
- 以上により、トータル処理コストの低減を実現します。

(5) 使用方法

① ジャーテスト実施手順

排水処理対象となる汚水について、適正な凝集剤の添加量を決めるためにジャーテストを行ってください。テスト方法は次の通りです。

- 1)汚水サンプルをビーカーに200mL入れます。
- 2)QCL-FSI 012凝集剤の添加量を少しずつ増やしなが
ら、凝集効果を観察します。

添加量例) 100ppm → 200ppm → 300ppm

- 3)QCL-FSI 012凝集剤添加後、速やかに高速攪拌を2
分程度行いながら凝集効果の発現を観察します。
凝集効果が表れてきた時点で攪拌速度を緩め、凝集
フロックを成長させます。



- 4)そのまま、3分程度緩速攪拌を行ったのち攪拌機を停止すると、凝集フロックがビーカー底
部に沈殿します。この時に、沈殿速度についても是非ご確認ください。
- 5)ビーカー上部の上澄み水の水質検査を行います。

②実際の処理設備でのテスト実施手順

前記のジャーテストの結果確認を終えたら、現地の排污水処理設備での使用実験を
実施します。

- 1)QCL-FSI 012凝集剤は粉末です。そのまま投薬しますので投薬器をご用意します。
- 2)QCL-FSI 012凝集剤投薬量は、ジャーテスト結果に従って、必要量を投薬してください。
実際設備での投薬量はジャーテストに比べ、若干少なくなる傾向です。
- 3)当社QCL製品シリーズ凝集剤共通の特徴として、処理対象排污水のpHに影響されません。
しかし、処理後の排水のpHは基準値に応じて調整してから排水する必要があります。
- 4)実際の処理設備の状況によっては、別に高速攪拌機と緩速攪拌機を用意する必要があります。

(6)製品保管場所及び方法

- ①QCL製品シリーズは、全て粉体で「20kg」袋詰となっています。
- ②包装は万全ですが、屋内保管を前提に、高温多湿で雨や水にふれない場所に保管願
います。
- ③保管方法が適正な場合、概ね6ヶ月は保管による製品劣化は発生いたしません。

発売元: 株式会社クイックリン
東京都台東区台東3-41-8-301
TEL : 03 - 3834 - 8600
e-mail: info@quicleanep.com
http://www.quicleanep.co.jp
製造元: TAITENG EP MATERIAL TECH Co.,Ltd.

お問合先:

QUICLEAN[®]は、株式会社クイックリンの登録商標です。